



清水町では、町ぐるみで子どもたちを育てていくコミュニティ・スクールが進められています。各保育・教育現場では、子どもたちの体調管理に注意をはらいながらそれぞれの活動を進めています。

豊穣の時期を迎え、子どもたちも充実した毎日を元気にすごし、地域の方々も多くの場面で関わっていただいているところです。今月号においても町民と子どもたちの関わりを中心に、その様子をお伝えいたします。

しみず認定こども園

「秋の味覚 とうきびを堪能しました！！」

8月22日（木）、梶山農場さんからのご厚意で、1人2本ずつ採れたての“恵味”という品種のとうきびをいただきました。

「とうきびのひげの本数が粒の数なんだよ」
「とうきびの苗からは2本なるんだよ」など
と、とうきびについての話もしていただき、とっても勉強になりました。



「とうきびだ～大好きなんだ～
♡」「甘いかな!？」などと家で

食べるのを楽しみに手に取っていた子ども達。そして保護者の方も「梶山農場さんのは甘くておいしいので嬉しいです」と喜んでいました。

お礼にひまわり組さんが代表して、とうきびのペンダントをつかって渡しました

次の日に「茹でてもらって食べたよ」「甘くて美味しかった」などととうきびの話題で持ちきりでした。



御影こども園

お兄さんお姉さんありがとう！



御影中学校の3年生の皆さんが、保育実習で来園し、楽しい4つのゲームを考え、準備をしてきてくれたので、子どもたちも目をキラキラさせて参加していました。

丁寧にルールを説明してくれたり、景品を用意してくれたり、お兄さんお姉さんの優しさに触れ、子どもたちもとても嬉しそうでした。

ゲームでたっぷり楽しんだ後は、お兄さんお姉さんと自由遊び！絵本を読んでもらったりブロックをしたり、ドッジボールをしたりと、たくさん遊んでもらって大満足♪とても楽しい時間になりました。



後日、お兄さんお姉さんからお礼のお手紙



が届き、「お姉さん優しかったよねー！」「お兄さん大好き！」と毎日嬉しそうに眺めていた子どもたちでした♪

中学3年生の皆さんありがとうございました。

清水小学校

習字を通して「集中力の高まり」実感

書写（毛筆）の授業では、毎年、書写ボランティアの方々にお手伝いをいただいで授業を進めています。

姿勢、筆の持ち方、回し方、力のかけ方等、様々な技術が必要な教科です。3年生から書写授業が始まり、基本を少しずつ学び、書ける字を増やしている子どもたち。書写の授業のたびに、書写ボランティアの皆さんが、子どもたちの良さを認めながらアドバイスをしてくださるおかげで、清水小学校の子どもたちはとても字を書くのが上手です。



先日の6年生の授業では、「思いやり」を書きました。4文字と難易度が高く、配列・点画に気を付けながら筆を走らせていた子どもたち。

ボランティアの方々と一緒に筆を持ったり、書き方を教えてもらったりして、練習を重ねるうちに自信を持ち、力強く、しなやかに書けるようになってきまし

た。

子どもたちは、とても集中して取り組んだので、個性がある、素敵な作品を作り上げることができました。

いつも子どもたちの姿を受け止めて、見守ってくださるボランティアの皆様。そんな皆様に見守り支えていただきながら、子どもたちは安心感を持ち、様々な場面で力を発揮しています。



御影小学校

町たんけんに行きました



9月3日（火）・5日に、2年生を対象とした「みかげ大すき！町たんけん」を行いました。

この授業は生活科の取組として、自分たちのくらす地域の様子やそこで働く人々の様子などを知り、自分たちの町をもっと詳しく知ることを目的としています。

町たんけんでは、「郵便局」「交番」「消防署」「じゅん&まき」「若原写真館」「御影珈琲」「伊藤電気」「真浄寺」から、一人2箇所を選択し、希望した箇所毎にグループを作り、子どもたちが各箇所での挨拶や質問事項などを考え、自分たちの力で町たんけんをしました。

出発前には何度も何度も挨拶の練習をしたり、質問の読み確認をしたりと、念入りに準備を進めました。その甲斐あって、各箇所に言ってもしつかりとした挨拶の後、スムーズにお仕事の内容を聞いたり見せていただいたりすることができました。

どの場所でも地域の皆様が温かく迎えてくださり、とても親切に教えてくれました。子どもたちは見学した施設についてのまとめを行い、この後、各施設にお伺いさせていただき、お礼を伝えます。





この学習は国語の学習と生活科の学習を兼ねた教科横断的な取組として行っています。そして、地域の皆様の温かいご厚意により、子どもたちは、地域のことを知り、その良さに気づき、地域を想う気持ちを育んでいます。この「十勝清水学」は地域の皆様のご協力により進めております。

清水中学校

2学年 職業講話

2学年の総合的な学習の職場体験学習の一貫として、「職業人に学ぶ①」を実施しました。清水町内「辻屋精肉店」の辻屋 裕康 氏を外部講師にお招きし、働くことの意義ややりがいなどについて熱心にお話ししてくださいました。

10月16日の職場体験学習に向けた事前の心構えとなるお話を聞くことができました。

「職業人に学ぶ②」は10月2日に実施予定で、「清水町役場」の吉田 寛臣 氏のお話を聞いて学習を深める予定です。



御影中学校

◇1日防災学校

～「2学年HUG（避難所運営ゲーム）」で防災を考える

本校では、防災教育の一環として、「一日防災学校」の日を設定しております。今年度は、9月5日（木）を防災の日とし、全校避難訓練と2学年のHUG（避難所運営ゲーム）を行いました。



3・4時間目、HUG（避難所運営ゲーム）の講師として、清水町役場総務課宇都宮主幹をお迎えし、災害が起こったとき、本校に避難所を開設する想定で学習を進めました。

同日、昼休みの時間帯に避難訓練を実施しました。

清水消防署の職員の方に避難訓練の様子をご覧いただき、災害時の心構え等について、ご助言いただきました。その後、消防署職員の皆様からご指導いただきながら、

生徒代表による消火体験を実施しました。



◇御影地区小中学校作文朗読意見発表大会

9月6日（金）、御影公民館において御影地区の小中学校代表者による、作文朗読・意見発表大会が開催されました。生徒たちは、日頃感じていること、自らの体験を通しての主張等を発表する機会をいただき、多くの地域の皆様の前で、堂々と発表することが出来ました。

